2012 International River Restoration Workshop

2012年 国際河川修復短期講習

July 4 and 5, Osaka, Japan

The objective of this two day short-course is to introduce the participants to the principles of stream and watershed restoration and to provide training on cutting-edge restoration techniques and tools. この短期研修の目的は、河川と河川流域修復の原理の理解と、応用のための最先端の技術とツール及びトレーニングを提供することです。

Intended participants of this short-course include water resources engineers and managers from industry, government agencies, and academics with an interest in learning about restoration principles and applications. この研修には、河川修復の原理と応用に興味のある水資源管理者やエンジニアなどの方々で、主に、産業、政府機関、および教育関係などの方々の参加を期待しています。

The following topics will be covered (講習のトピックは以下の通りです):

Eastern and Western philosophies of man's interaction with nature 自然と人間の相互作用における東洋と西洋の哲学

Geomorphic and ecological processes in rivers and riparian zones 河川と水辺の地形学的、生態学的プロセス

Watershed management impacts on stream function and condition 河川流域管理の河川の機能や状態への影響

Principles of fluvial geomorphology for supporting restoration 河川修復を支える河川地形学の原理

Setting river restoration goals and objectives and a plan for success 河川修復の最終目標(ゴール)と目的および達成計画の策定

Restoration approaches and tools for implementing projects 河川修復実行プロジェクトのためのアプローチとツール

Indirect restoration through hydrologic and watershed management 水文学と流域管理をによる間接的な修復法

International examples of projects from the USA, Europe, and Asia 米国、欧州、およびアジアのプロジェクトの例

About the Instructors

Professor Mark Stone, Ph.D., P.E., University of New Mexico: ストーン博士はニューメキシコ大学都市工学科の教授です。生態系工学のエキスパートとして、河川修復や環境流況、そして生息域のモデリングなどに携わっています。彼の研究はアメリカ国立科学財団やアメリカ陸軍工兵司令部が支援しています。ストーン博士は河川修復に関しての教育・研究経験、そして実践経験が豊富です。特に、今回の河川修復の研修会は、これまでに米国をはじめ、日本、中国、そしてエジプトでも開催実績があり好評を博しています。

Ryan Morrison, P.E., University of New Mexico 米国HDRエンジニアリング社(コンサルタント会社)でダム除去や都市河川の修復プロジェクトに参画し、水資源エンジニアとして4年の経験を有します。ニューメキシコ大学の博士課程に在籍中。現在の研究テーマは持続可能な水資源管理であり、ニューメキシコ州を流れるチャマ川の環境流況確定に取り組んでいます。

研修費は45,000円です。登録はウェブサイトから、お支払いはお支払いはPayPalでお願いします。